



2026 年 9 月 10 日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ヴィッツ
(証券コード: 4440)

**パナソニック コネクト株式会社との協業強化により
製造 DX とフィジカル AI 向けロボット統合ソリューションの提供を開始**

Robo Sync for Cobot と SF Twin™ Cobot 2.0 の連携によりロボットプログラム作成から実機を使わない仮想検証までを一体化

株式会社ヴィッツ(以下、当社)は、パナソニック コネクト株式会社が提供する協働ロボット制御サービス「Robo Sync for Cobot」と、当社のロボットシミュレータ「SF Twin Cobot 2.0」を連携させ、ロボットプログラムの作成から実機を使わない仮想検証までを一体で支援するソリューションの提供を開始します。本ソリューションにより、ロボット導入前の動作確認やレイアウト検討を仮想空間上で行うことができ、製造現場における導入時の手戻り削減や立ち上げ期間の短縮に貢献します。

背景:ロボット導入拡大に向けた現場課題

製造業では、人手不足への対応や生産性向上を背景に、ロボット活用の需要が高まっています。一方で、ロボットメーカーごとに異なる操作・プログラム環境への対応、実機を用いた現地検証、生産ラインを停止して行う立ち上げ作業などが、導入拡大に向けた課題となっています。さらに、ロボット技術者の不足により、導入・運用を担える人材が限られていることも、現場でのロボット活用を進める上での大きな負担となっています。

こうした課題に対し、当社は、Robo Sync for Cobot によるノーコードでのロボットプログラム作成と、SF Twin Cobot 2.0 による実機を使わない仮想検証を組み合わせたソリューションを提供し、導入前の検証負荷低減と立ち上げ期間短縮を支援します。これにより、導入前の検証負荷を低減するとともに、現地調整や手戻りの削減を支援しロボット導入のハードルを下げ、製造現場における自動化・省人化のさらなる推進に貢献します。

両製品の役割

Robo Sync for Cobot | ノーコードでロボット動作を作成

複数メーカーのロボットを共通のノーコード環境で制御できるプラットフォームです。専門的なプログラミングスキルを必要とせず、画面操作によりロボット動作を作成できるため、開発工数の削減と、人材不足に起因する導入・運用負荷の低減に貢献します。

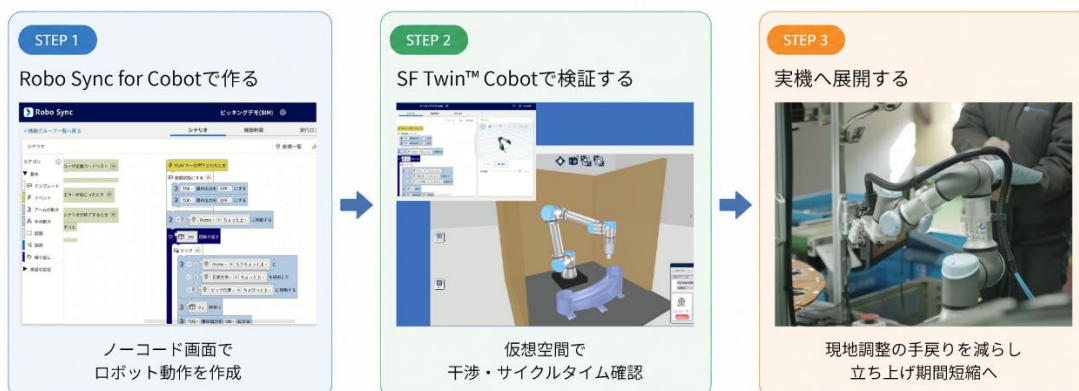
SF Twin Cobot 2.0 | 仮想空間でロボット動作を検証

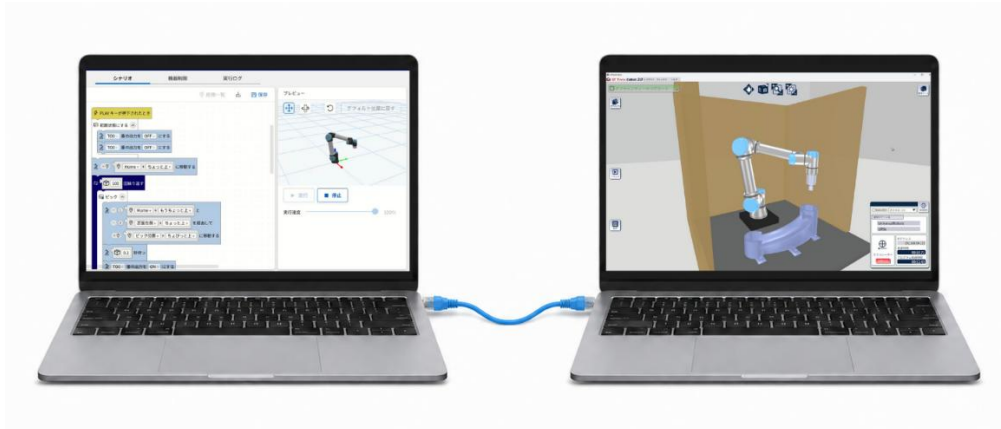
ロボットや周辺設備を仮想空間上に配置し、ロボット動作時の干渉やサイクルタイムを確認できるシミュレーションツールです。実機を用意する前の段階で検証を行えるため、設備立ち上げ時の手戻りやリスクの低減を支援します。

連携による提供価値

本ソリューションでは、Robo Sync for Cobot で作成したロボット動作を、SF Twin Cobot 2.0 上で仮想検証できます。これにより、ロボットプログラムの作成、動作確認、レイアウト検討、干渉確認、サイクルタイム検証を、実機を用意する前の段階から進めることが可能になります。

また、現実世界の設備・ロボット・作業工程をデジタル空間上に再現することで、導入前の検証や最適化をより高度に行える環境の実現を目指します。こうした仮想検証環境は、将来的に AI がロボットや設備を制御するフィジカル AI の活用においても、安全性や効率性を高める重要な基盤になると考えています。





期待される効果

- ロボットメーカーごとの操作・開発環境の違いによる負荷を低減
- ロボット専門人材に依存しすぎない動作作成環境を提供
- 実機や現場環境がなくても、導入前検証が可能
- 干渉・サイクルタイム・レイアウトを事前確認し、現地調整や手戻りを削減
- ロボット導入の初期ハードルを下げ、製造現場への普及拡大を支援

今後の取組み

当社は今後、Robo Sync for Cobot と SF Twin Cobot 2.0 を組み合わせたソリューション提案を強化し、ロボットソフトウェア開発から仮想検証までを一体で支援する価値提供を強化してまいります。製品デモやセミナー、展示会などを通じて市場認知の拡大を図るとともに、製造現場での導入実績をもとに機能拡充と標準化を進め、ソリューションの競争力向上に取り組んでまいります。

将来展望

当社は、ロボット・フィジカル AI 市場の成長を中長期的な事業機会と捉えています。

フィジカル AI では、AI がロボットや設備を自律的に制御するため、安全かつ効率的な仮想検証環境の重要性が一層高まると考えています。

当社は、パナソニック コネクト株式会社の Robo Sync for Cobot と当社の SF Twin Cobot 2.0 を連携させることで、ロボットソフトウェア開発と仮想検証を融合したソリューションを展開し、お客様の開発効率向上と品質向上を支援してまいります。

さらに、製造 DX、ロボット活用、フィジカル AI という成長領域において、当社のソフトウェア技術を核とした事業機会の拡大を図り、中長期的な事業成長と企業価値の向上を目指してまいります。



■ パナソニック コネクト株式会社の詳細は[こちら](#)

■ 「Robo Sync for Cobot」の詳細は[こちら](#)

■ 「SF Twin Cobot 2.0」は株式会社ヴィッツの商標です。製品の詳細は[こちら](#)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヴィッツ

IR 担当窓口: 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-950-5868 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp